

こもれび狂言会

Tall Trees

野村万作・萬斎 狂言の世界

国宝となる笑いの至芸。

2年ぶりに「こもれび狂言会」を開催。

90歳を超えなお舞台上でより一層輝く人間国宝・

野村万作を筆頭に、古典芸能にとどまらず

映像・舞台と幅広く活躍する野村萬斎ら一門により

狂言の魅力をお余すことなくお届けします。

狂言師による解説もあり、はじめての方でもお楽しみいただけます。



撮影・政川慎治



撮影・政川慎治

解説 高野和憲

狂言 もらいむこ
賞智

舅：野村万作 夫：深田博治 妻：飯田 豪

狂言 うおぜっぽう
魚説法

新発意：内藤 連 施主：岡 聡史

狂言 ざっか
咲嘩

太郎冠者：野村萬斎 主：中村修一 咲嘩：石田幸雄

2024年

11月15日(金) 18:00 開場
18:30 開演

タクトホームこもれびGRAFAREホール
(保谷こもれびホール) メインホール

料金 全席指定(税込) 一般 4,000円
中学生以下 1,000円

※未就学児入場不可

※車いす席ご希望の方は、会館窓口までお問い合わせください。

発売日 友の会先行 8/15(木) 10:00~
一般 発売 8/22(木) 10:00~

※発売初日はいずれも窓口での取り扱いなし

チケット取扱い

- ◆ タクトホームこもれびGRAFAREホール 042-421-1919
- ◆ オンラインチケットサービス
- ◆ チケットぴあ Pコード [528-623]
- ◆ ローソンチケット Lコード [34457]



特別企画

狂言をもっと楽しむための
「狂言師による狂言講座」開催

狂言ってどんなもの？見どころはどこ？という
鑑賞のためのワンポイント知識はもちろん、
参加者の皆さんにも狂言の動きや台詞に
挑戦いただきます！

講師 飯田 豪 (万作の会 狂言師)

10月6日(日) 14:00開始

会場：リハーサル室

参加費：500円 定員：20名(先着順)

対象：小学生以上

申込開始：8/22(木)10:00~

電話またはオンラインフォームからのお申込み

※詳細はホールホームページをご覧ください。



主催・お問合せ

タクトホームこもれびGRAFAREホール
(保谷こもれびホール)

TEL 042-421-1919 開館時間 9:00~22:00

休館日 5月、8月、11月、2月の第2月曜日(祝日の場合翌日)、
及び年末年始(12/29~1/3)

指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス



あらすじ

貰聲

酒を飲んで帰宅した夫が、酔った勢いで妻を追いついてしまう。泣く泣く実家に戻った妻は、たびたびの夫の酒乱に呆れ果て、帰宅を促す父親の説得にも一向に応じない。翌朝、酔いが覚め後悔した夫は、舅を訪ね、妻を返してほしいと頼むのだが…

現代でもよくいる酔っ払い、酒癖の悪い仕様のない男を取り巻くお話ですが、三者三様の人間味溢れる登場人物の姿に、変わらぬ人の営みを感じられる狂言です。

魚説法

堂を建立した施主が、堂供養を頼もうと寺を訪ねる。しかし住持が留守のため、留守番の新発意(しんぼち・出家して間もない修行中の僧)が説法を頼まれる。お布施欲しさに引き受けた新発意だが、実は一度も説法をしたことがない。子供の頃浜辺に住んでいた新発意は、知っている魚の名前を連ねてごまかすことにする。いよいよ説法が始まるが…

みごとに魚の名が織り込まれた説法が聞きどころです。洒落の効いた言葉遊びが楽しい狂言です。

咲嘩

連歌の宗匠を頼むため、都の伯父を連れて来るよう主人に命じられた太郎冠者。都へ行くと、伯父と名乗る男が声を掛けるのでさっそく連れ帰るが、この男、実は「見乞の咲嘩」という有名な詐欺師。正体に気付いた主人は、咲嘩を穩便に帰らせるよう言いつけるが、太郎冠者の勘違いで、事態はどんどんトンチンカンな方向に…

いかにも狂言らしいおかしみのある作品です。憎めないキャラクターの太郎冠者を中心に3人が織りなす、とぼけたやり取りをお楽しみ下さい。



野村 万作 のむら まんさく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。23年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。

軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストファーザー賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパンソサエティ賞等、受賞歴多数。02年早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。08年練馬区名誉区民。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺待』『敦一山月記・名人伝一』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも尽力。著書に『太郎冠者を生きる』(白水社uブックス)、『狂言三人三様・野村万作の巻』(岩波書店)、『狂言を生きる』(朝日出版社)など。練馬文化センター名誉館長。



野村 萬斎 のむら まんさい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。

国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝一』『子午線の祀り』『能狂言『鬼滅の刃』』『ハムレット』など古典の技法を駆使した作品の演出、出演するなど幅広く活躍。23年には全国共同制作オペラ 喜歌劇「こもり」演出、石川県で開催された国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」で開閉会式総合ディレクターを務めるなど、現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等受賞多数。18年毎日芸術賞千田是也賞受賞。22年観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞受賞。著書に『萬斎でござる』『MANSAI◎解体新書』(朝日新聞出版)、『狂言サイボーグ』(日本経済新聞社/文春文庫/ちくま文庫)等がある。石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター。全国公立文化施設協会会長。

チケットプレイガイド

タクトホームこもれびGRAFAREホール窓口・電話予約

TEL:042-421-1919 (開館時間9:00~22:00)
※友の会先行・一般発売初日は窓口の取扱いなし



オンラインチケットサービス

オンラインチケットサービスでのご購入・ご予約は会員登録(無料)が必要です。

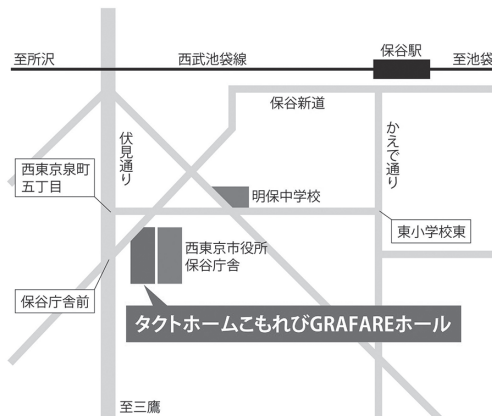
◆ チケットぴあ Pコード【528-623】

◆ ローソンチケット Lコード【34457】

お問い合わせ

タクトホームこもれびGRAFAREホール (保谷こもれびホール)

〒202-0013 東京都西東京市中町1-5-1
TEL:042-421-1919 (開館時間9:00~22:00)
休館日:5、8、11、2月の第2月曜日(祝日の場合翌日)
及び年末年始(12月29日から1月3日)
指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス



アクセス

西武池袋線保谷駅南口より徒歩15分
各駅よりバス「保谷庁舎」下車すぐ(以下参照)
保谷駅より:西武バス【鷹21】【吉63】【田41】
西武新宿線田無駅より:西武バス【田41】
JR吉祥寺駅より:西武バス【吉63】
JR三鷹駅より:西武バス【鷹21】
西武池袋線ひばりが丘駅より:はなバス第2ルート
西武新宿線東伏見駅より:はなバス第2ルート